

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【公開番号】特開2021-65480(P2021-65480A)
【公開日】令和3年4月30日(2021.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2021-020
【出願番号】特願2019-193873(P2019-193873)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 6 3 1

10

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月22日(2022.9.22)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

20

前扉と、

リールと、

ストップスイッチと、

画像表示手段と、

所定のエラーを報知可能な所定のセグメント表示器と、

内部抽選手段と、

ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態とを備え、

30

内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第1操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第1図柄組合せを停止可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第2操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第2図柄組合せを停止可能であり、

第1図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、

第2図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能であり、

報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定の遊技において第1操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊技において第2操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技において所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、

40

特定の設定値（遊技者に最も不利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する第1遊技方法で、その他の遊技では第3遊技方法で所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をA（Aは数値）とし、

前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をB（Bは数値）とし、

所定の設定値（遊技者に最も有利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する前記第1遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法

50

で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をC（Cは数値）とし、
前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作
する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行
った場合の出玉率の設計値をD（Dは数値）とした場合、
 $A > B$ 、且つ、 $C - A > D - B$ となるよう設計されており、
遊技媒体の差数に関する値が所定の条件を満たすと遊技の進行を停止可能とし、
遊技媒体の差数に関する値が前記所定の条件を満たして遊技の進行を停止した場合であっ
ても、メニュー画面の表示条件を満たすと画像表示手段にメニュー画面を表示可能とし、
遊技媒体の差数に関する値が前記所定の条件を満たして遊技の進行を停止した場合であっ
ても前記所定のセグメント表示器では遊技の進行が停止した旨を報知しないよう構成され
ている

10

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

前扉と、

リールと、

ストップスイッチと、

画像表示手段と、

所定のエラーを報知可能な所定のセグメント表示器と、

内部抽選手段と、

ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態と

を備え、

内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第1操作態様でストップスイッチ
が操作された場合には、第1図柄組合せを停止可能であり、

30

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第2操作態様でストップスイッチ
が操作された場合には、第2図柄組合せを停止可能であり、

第1図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、

第2図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能
であり、

報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定
の遊技において第1操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊
技において第2操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技に
おいて所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、

特定の設定値（遊技者に最も不利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様
でストップスイッチを操作する第1遊技方法で、その他の遊技では第3遊技方法で所定回
数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をA（Aは数値）とし、

40

前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作
する第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行っ
た場合の出玉率の設計値をB（Bは数値）とし、

所定の設定値（遊技者に最も有利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様
でストップスイッチを操作する前記第1遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法
で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をC（Cは数値）とし、

前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作
する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行

50

った場合の出玉率の設計値を D (D は数値) とした場合、
 $A > B$ 、且つ、 $C - A > D - B$ となるよう設計されており、
遊技媒体の差数に関する値が所定の条件を満たすと遊技の進行を停止可能とし、
遊技媒体の差数に関する値が前記所定の条件を満たして遊技の進行を停止した場合であっ
ても、メニュー画面の表示条件を満たすと画像表示手段にメニュー画面を表示可能とし、
遊技媒体の差数に関する値が前記所定の条件を満たして遊技の進行を停止した場合であっ
ても前記所定のセグメント表示器では遊技の進行が停止した旨を報知しないよう構成され
ている
ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定される
ことなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

内部抽選手段と、

を備え、

内部抽選手段は、第 1 図柄組み合わせと当該第 1 図柄組み合わせよりも多くの遊技媒体
の払い出しを伴う第 2 図柄組み合わせと遊技媒体の払い出しを伴わない第 3 図柄組み合わ
せとのいずれかが停止可能な特定役を決定可能に構成されており、

特定役が決定されている遊技では、第 3 図柄組み合わせが停止されたことに基づいて遊
技者に有利な特典を付与し得るよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50